



たまーい

発行
茅野市社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター
☎ 73-4431
<http://www.sharara.or.jp/>

2013年2月1日

ご協力ありがとうございました —平成24年度「ひとにぎりのお米（支援米）」報告—

今年度も多くの方々のご理解とご賛同をいただき、『ひとにぎりのお米（支援米）』活動では、3トン弱もの沢山のお米をご寄付いただきました。ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。

お寄せいただいたお米は、それぞれ支援団体等へ配達・受け渡しをいたしました。また、12月7日には、前年に引き続き、東日本大震災で被災された岩手県宮古市の仮設住宅で生活されている世帯にも配達しました。

今後も野宿生活を余儀なくされている方々等を支援するため、活動していく所存でございますので、お力添えのほどよろしくお願い申しあげます。

次ページに、支援米をお渡しした団体等からお礼状が届きましたので紹介いたします。



支援米合計 3,003.3kg «提供者内訳 グループ等 26団体 個人 63名»

受渡し団体等 NPO 法人おおぞら（大阪府）(875.6kg) SOS ネットワークすわ (1,365.7kg)
岩手県宮古市仮設住宅 ×3 か所 (690kg) 市内生活困窮者 (60kg) ほか

支援米を送った団体より、お礼状が届きました



拝啓 このたびは、当藤畠仮設住宅に丹精込めて育てた、沢山のおいしいお米をご支援いただき、皆様の心温かいお気遣い、思いやりに住民一同深く、感謝しております。

お陰さまで、大変おいしいお米で良い正月を迎えることができます。

本当にありがとうございます。厳しい寒さが続きますが、くれぐれもお体を大切にお過ごしください。取り急ぎお礼申し上げます。 敬具

12月18日

岩手県宮古市藤畠仮設住宅 自治会長
小堀内郁雄

拝啓 寒くなってきた宮古です。14日には大阪のおおぞら会の大川様から沢山のお米を届けていただき、ありがとうございます。

沢山のお米に皆さん驚いていました。仮設に入居している人達にお手伝いをしていただけて分けました。

私は困難に負けないで夢に向かって頑張っていきたいと思います。本当に本当にありがとうございました。 敬具

12月16日

岩手県宮古市板谷公園仮設住宅
代表 休場久美子

この度は、お米を寄贈していただき誠にありがとうございました。現状としては駅舎や道路、公園などで生活している野宿生活者は年々減少しています。しかし、アルミ缶等廃品の収集量は、一般の人たちが彼らと同じように収集しますので、当然減少し生活が厳しくなっています。

寄贈していただいたお米を有効に活用し、一人でも多くの野宿生活者が脱野宿できるよう支援していきたいと思います。ありがとうございました。

2012年12月17日

大阪府社会福祉協議会 社会貢献推進室
伊藤俊幸

12/14、確かにお米頂戴いたしました。仮設の皆さんも大変感謝しております。

震災から2年近くたっておりますのに被災者のことを忘れないでいてくださる事、その思いがどれだけ私たちの支えになっているか…これが反対の立場だったら皆様のように出来るかと考えると心からの感謝の言葉しかありません。ありがとうございます。

復興まであと何年かかるかわかりませんが、できる限り頑張っていきたいと思います。

どうぞ皆様お体に留意されてお過ごしください。

12月17日

岩手県宮古市高浜仮設住宅 自治会長
佐々木清明

「来年もよろしく」と、例年以上に沢山のお米や野菜・切り餅など、ずっしりと重い袋を提げて相談会場を後にする仲間たちの顔は明るい。

“SOS ネットワークすわ”の2012年最後の相談会は、4年前に活動を始めてから125回目となりました。

このような活動が続けてこられるのも、茅野市社会福祉協議会様より5年間連続で毎年1,000kgを越えるお米や野菜の提供が大きな力となっています。

一日も早く仕事に就こうと毎週ハローワークに出向き、新聞・雑誌の広告を見て面接活動など懸命に努力をしても仕事に就けず、個人の力では解決の見通しが立たず先の見えない日々は、まず精神的にダメージを受けます。

このような仲間たちが、唯一“ほっ”と一息付ける場所がSOSネットワークの相談会場かもしれません。皆様のご協力に心から感謝を申し上げます。

SOSネットワークすわ 事務局長 上原和喜

たくさんの応援をしていただく人々の手を通して貴重な、また非常に質の良いお米を提供していただき、良いお正月がきます。と言って、多くの皆さんがあなたや否や炊いて召し上がっていただきました。

心より感謝を申し上げます。

NPO法人「おおぞら会」 大川記代子

ボランティア
市民活動
センター

運営委員会便り
No.5

私たちのまち ボランティア市民活動のまちから

— 身近にあるボランティア・市民活動を支える仲間を紹介します —

今回は、現在茅野市ボランティア・市民活動センター運営委員長の依田京美さんから、子育てにかかる活動を通して感じたこと、ボランティアや市民活動についての想いを寄稿していただきました。



こども育てと自分育て ~今までの活動とこれから~

「あ～、無理、無理！自分の子どものことだけで精いっぱい！そんな時間も余裕もない！」

きっと私もいろんな活動やいろんな人と出会わなければ、誰かに誘われてもそう言っていたんだろうなあ。時々そう思います。でも、時間や余裕はつくるもの。子どもがいたって「やりたいと思うことはできる」ことを知りました。

「自分の子どもは、いい子に育ってほしい」親なら誰もが願うことです。

20年前、子育てサークルの活動を始めた時「自分の子どもだけをいい子に育てることはできない」と気付きました。みんなが「しあわせ」ってことが子どもや自分にもつながることを実感しました。



「自分が知りたいことって、案外みんなの知りたいこともある」

子育て情報誌を作つてみて、みんなが知りたいことなら一人で抱え込むより、みんなで共有したほうが楽しいことを知りました。「同じことで悩んでいたんだね」「話をしたらスッキリした」情報が殆ど無かった20年前。情報誌作りは3人でやっていましたが、共感していただいた市内外の多くのサポーターに支えられた活動でした。

「つながるっておもしろい」

「人とのつながりが煩わしい」という人もいますが、イメージだけで具体的に何が嫌だという人はあまりいません。人と知り合つて損をすることはありません。20年の活動の中で幅広い年齢層の知り合いができる、いろんな職業の方たちともつながることができました。

「いつまで子育てのことをやっているの？」

子どもも成人し特に肩書のない私は、よくそう言われます。しかし、たまたま入口が「子育て」というだけで、まちづくりの活動のひとつをやっているのだと思っています。「自分も含めて、みんながしあわせになるために何ができるか…」さまざまな場面で多くの人が考えられたらしいと思います。





情報ネットワーク

2月

の主な予定

(総合福祉センター・市民活動センター事業)



第1・3日	(月) かにさん (収集整理V)
第1・3日	(金) まほうのことば (手話学習V)
第2・4日	(火) 要約筆記ひまわり (要約筆記V)
星の会 (点訳V)	
第2・4日	(水) 手話ダンス千の風 (手話ダンスV)
第2・4日	(木) どさゆさ (演歌体操V)
毎週(金)	すずめのお宿 (いきいきサロン)
毎週(水)	わかばフィットネス

5日 (火) 腹話術友の会
押し花なでしこ会
7日 (木) 傾聴パートナー「あ・うん」(傾聴V)
8日 (金) どっこいしょ喫茶 (どっこいしょ広場)
12日 (火) おひさまクラブ
14日 (木) 地区ボランティアコーディネーター連絡会
16日 (土) 地区ボランティアコーディネーター連絡会 (観察)
21日 (木) ボランティア・市民活動センター運営委員会
23日 (土) 歌の集い (どっこいしょ広場)
25日 (火) 倾聴Vひだまり
26日 (水) ひざしの会 (テープ吹き込み)
幸せ応援団

義援金にご協力ありがとうございました

平成 24 年 4 月から 12 月にかけて、日本各地で発生した各種災害において、被災された方々を支援することを目的に義援金の受付と募金箱を設置しました。

皆さまからご寄付いただいた義援金は、下記のとおり送金いたしました。ご協力、ありがとうございました。

(1) 栃木県竜巻義援金および茨城県竜巻義援金

期間 5月21日 (月) から6月29日 (金) まで
義援金送付先 栃木県共同募金会および茨城県共同募金会
募金総額 4,306円 (金額を折半し送金)

(2) 北九州北部豪雨災害義援金

期間 7月23日 (月) から8月17日 (金) まで
義援金送付先 大分県共同募金会、熊本県共同募金会、福岡県共同募金会
募金総額 14,541円 (金額を三等分し送金)

(3) 平成 24 年 8 月京都府南部豪雨災害義援金

期間 8月27日 (月) から9月21日 (金) まで
義援金送付先 京都府共同募金会
募金総額 3,023円

(4) 平成 24 年 鹿児島県奄美地方台風災害義援金

期間 11月1日 (木) から30日 (金) まで
義援金送付先 鹿児島県共同募金会
募金総額 4,351円

— 文字で伝えて耳代わりに… —

“要約筆記”講習会のお知らせ

耳の不自由な方で、手話でコミュニケーションをとれる方は、十数%と言われています。要約筆記は、手話がわからない聴覚障害の方に、聞き取った話の要点をその場で書いて伝える通訳方法です。災害時にも、情報を伝えるのにとても重要な通訳です。要約筆記を利用してみたい方も、ぜひご参加ください。



日 時：3月6日 (水) 午後1時～3時

会 場：茅野市総合福祉センター3階 第1会議室

内 容：・聴覚障害とは？ ・要約筆記の役割 ・聞こえない疑似体験 ・文字で会話してみましょう！

申 込：3月4日 (月) までに、社協へ電話またはFAXでお申し込みください。

TEL 73-4431 FAX 73-8030

主 催：要約筆記グループ ひまわり 共 催：茅野市社会福祉協議会

※ この講座には「ボランティアグループ活動助成金」が使われています。